

いつもの書類づくりを、AIが下書きし、 担当の方が確かめて仕上げる形に。

2

任せやすい 業務の例

いつもの材料を用意する

AIが下書きを作る

担当の方が確かめて送る

例：見積書・提案書 / 問い合わせの一次返信 / 請求の発行・入金確認・督促

1

AIに業務を1つ任せる、という進め方

対象はパソコン1台・担当の方1名・業務1つ

3

自分でAIを使うのと、何が違うか

自分で使う場合

AI

導入パッケージ

AI

+

使い方の決まり

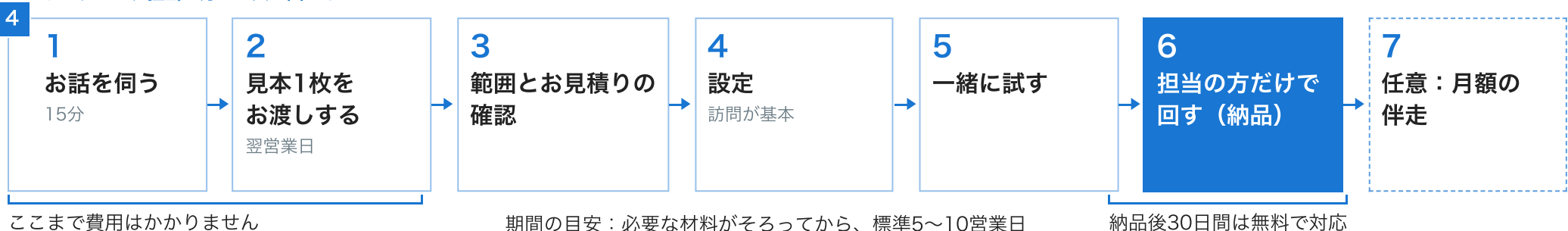
+

窓口

相談から導入までの進め方（7つの段階）

□ 段階 ■ 納品 □ 任意 1 説明する順

ヒアリングから、担当の方が一人で回せるまで



5

導入に含む物・含まない物

含む物

- AI作業環境の設定
- 指示と手順の整備
- 操作の説明と実行確認
- 納品後30日間の対応

含まない物

- 追加のパソコン・利用者・業務
- 高難度の処理、外部連携
- 有料AIサービスの利用料
- 関東圏外への出張費

使うAI：Claude（ご担当者様のアカウント）。
利用料はお客様負担

AIは下書きまで。送信・公開・金額の判断は担当の方が行います。

6

費用（税別）

標準の初期導入

150,000円

通常300,000円。着手時50%・納品時50%

月額の伴走（任意）

20,000円/月

最低6か月

7

次の一步

気になる業務を一言、
メールにご返信ください

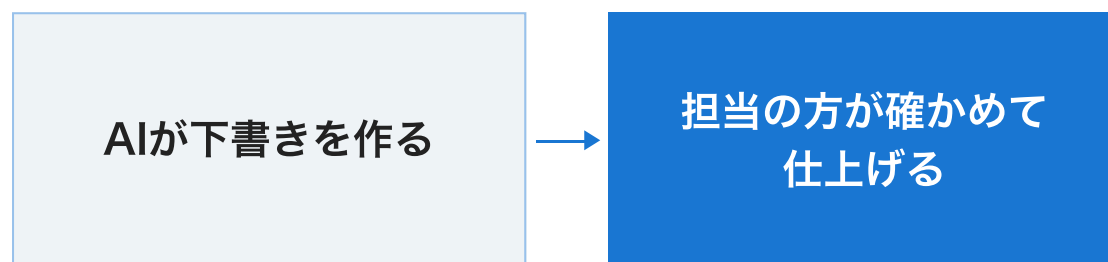


その業務をAIに任せた時の流れを1枚に
してお送りします

いつもの書類づくりを、AIが下書きし、担当の方が確かめて仕上げる形に。

社長やご担当者様のパソコンにAIを設定し、業務を1つ、「AIが下書きを作り、担当の方が確かめて仕上げる」形まで整えます。
対象はパソコン1台・担当の方1名・業務1つ。小さく始めて、担当の方が自分で動かせる所までが導入の範囲です。

対象



この資料でわかること

- 2枚目 どんな業務を任せやすいか（例3つ）
- 3枚目 自分でAIを使うのと、何が違うか
- 4枚目 相談から導入までの進め方（7つの段階）
- 5枚目 導入に含む物・含まない物
- 6枚目 費用
- 7枚目 次の一步

「材料を渡すと下書きができる」仕事から。

業務	用意する物（いつもの材料）	AIが作る下書き	担当の方がすること
見積書・提案書	現場で聞いた内容のメモ、 自社の単価表	→ 見積書の下書き	→ 数字と文面を確かめて送る
問い合わせの 一次返信	届いた問い合わせ、よくある 質問、過去のやり取り	→ 返信の下書き	→ 内容を確認して送る。判断が 要る物は社長に回す
請求の発行・ 入金確認・督促	請求の一覧、入金の記録	→ 請求書・入金確認・お支払いの お願いの下書き	→ 金額と相手を確認して送る

上の3つは例です。日報・作業報告・集計など、材料があって毎回ほぼ同じ形の書類なら、同じ形で整えられます。送信・公開・金額の判断は担当の方が行い、AIに任せません。

30秒の見本動画：見積／問い合わせの返信／請求

準備中

自分でAIを使うのと、何が違うか。

AIそのものは誰でも契約できます。導入パッケージで変わるのは、AIの「使い方の決まり」と「窓口」が最初から整っていることです。

	自分でAIを使う場合	導入パッケージで始める場合
役割の分け方	 1つのAIに、考えることも作ることも全部まとめて頼む。指示と確認が同じ会話に混ざる	 「頭」が要件を決めて段取りし、「手」が作る。作った物を頭が別の目で確かめてから渡す
説明のされ方	 長い文章の返事を自分で読み解く	 流れ・比較・段階の説明は図解つきで返す決まり。見れば分かる形で届く
判断の頼まれ方	 迷う点をその都度、会話で聞かれる	 AIが「選択肢・それぞれで何がかわるか・おすすめ」を判断シート1枚にまとめ、担当の方は選ぶだけ。「人は判断だけをする」決まりを渡す
使う場所	 パソコンの前で会話する	 スマホからも頼む・確かめる・判断できる窓（看板ボード）がある
自分の仕事への当てはめ	 何に使えるかを自分で考える	 今のタスクを渡すと「この業務ならこう使える」が分かる窓口がある
できることの見え方	 やり方がその場限りで、次に同じことを頼めるか分からない	 使うスキル（手順の束）が一覧になっていて、何ができるか・どれを使うかが分かる

導入パッケージの中身は、ご担当者様のパソコンに作る作業場・決まり・スキルの一式です。AIの契約はご担当者様ご自身で行います。

ヒアリングから、担当の方が一人で回せるまで。

1	お話を伺う 15分	電話かオンラインで、日々の書類仕事で時間を取られている物を1つ伺います。誰が、どの道具で、週に何回。	
2	見本1枚をお渡しする 翌営業日	伺った業務をAIに任せた時の流れと、出来上がりの例を1枚にしてお送りします。 ここまで費用はかかりません。	ここまで費用なし
3	範囲とお見積りの確認	見本を見て進める場合、業務の範囲・使う材料・納期を確かめ、お見積りをお出しします。会社での外部AI利用の許可と、パソコンの環境もここで確認します。	
4	設定	ご担当者様のパソコンに、AIの作業環境と、その業務のための手順を整えます。 訪問が基本で、遠方は画面共有でも行えます。	
5	一緒に試す	実際の材料で、下書き→確かめ→仕上げを一緒に数回行います。うまく出ない所は手順を直します。	
6	担当の方だけで回す（納品）	ご担当者様が一人で動かせることを確かめて納品。納品後30日間は、不具合の直しと操作の質問に無料で対応します。	納品後30日間は無料
7	任意：月額に伴走	その後も続けたい場合、質問と学びの支援と、納品した業務の小さな直し（月2時間まで）を月額で行います。	任意

含む物をはっきりさせ、別途の物は先に伝えます。

標準の導入に含む物

- パソコン上のAI作業環境の設定（作業場・担当AIの設定・手順）
- 対象業務に合わせた指示と手順の整備
- 担当の方向けの操作の説明と、担当の方による実行確認
- 納品後30日間の不具合修正と操作の質問への対応

含まない物 別途お見積り・事前の確認

- 追加のパソコン・利用者・業務
- 高難度の処理、外部サービスとの連携
- 有料AIサービスの利用料（お客様負担）
- 関東圏外への訪問の出張費

使うAIと、会社の情報の扱い

AIは Claude（米Anthropic社）を、ご担当者様ご自身のアカウントで使います。単価表やお客様とのやり取りなどの材料は、ご担当者様のパソコンの中の作業場に置き、必要な部分だけをAIに渡します。入力した内容をAIの学習に使わせない設定にして納品します。

有料AIの利用料の目安（お客様負担）

Claude の有料プラン（Pro）は月20米ドル（日本円で3,000円前後。支払い方法と為替で変わります）。多く使う場合は上位プラン（月100米ドルから）もあります。どのプランが合うかは、業務を伺った時にご案内します。

言葉の説明

- **作業場**：ご担当者様のパソコンに作る、その業務のためのフォルダ。材料・手順・できた書類をここに置きます。
- **担当AI**：作業場の手順にそって下書きを作るAI。送信や判断はしません。
- **高難度の処理**：手書きの読み取り、複数の仕組みをまたぐ処理、特別な業務ルールの作り込みなど。標準の範囲に入るかは、お見積りの前にお伝えします。

AIがしないこと

送信・公開・金額の判断。AIは下書きまで。確かめて仕上げるのは担当の方です。

初期導入と、任意の月額。

標準の初期導入

150,000円

税別。通常300,000円

- 1社・パソコン1台・利用者1名・業務1つ
- 着手時50%・納品時50%

月額の伴走 任意

20,000円/月

税別

- 最低6か月
- 納品後30日間の無料支援の終了後から
- 質問と学び、納品した業務の小さな直し（月2時間まで）

資料請求・ご相談の時点では、導入のお申込みにはなりません。対応範囲・費用・納期は、個別の確認とお見積りで確定します。

気になる業務を、一言教えてください。

お客様

「見積書づくりに時間がかかる」「問い合わせの返信が溜まる」など、一言で結構です。資料をお送りしたメールにそのままご返信ください。



株式会社SeKnAck

その業務をAIに任せた時の流れを1枚にしてお送りします。

株式会社SeKnAck

担当：上村

ai-setup@seknack.com

03-6271-6013

東京都大田区大森中3-1-1 第6シンエイビル1F

<https://seknack.co.jp/>